

近事研学校事務セミナーを終えて

第10回近事研学校事務セミナー（以下、「近事研セミナー」。）は、2月14日京都タワーホテルにおいて、300名余りの参加者を集めて開催されました。

調査研究部からは、全事研兵庫大会（近事研大会と同心円開催）での提案内容を中心とした活動報告を、文部科学省行政説明は三位一体の改革から国庫補助負担金の改革についてのお話を、最後にラジオのパーソナリティーの顔も持つ京都美山高等学校長 大野実様より「夢の種まき～トーク&ライブ～」を演題に、自らの不登校の経験から夢に向かう生徒を応援したいとライブを交えた講演会を行い、盛会裏に終了しました。



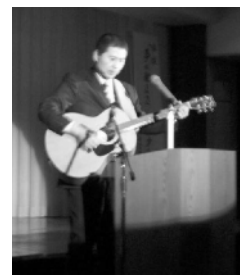
講演会 「夢の種まき～トーク&ライブ～」

京都美山高等学校 校長 大野 実 様



京都美山高等学校は、2003年10月にWebスクールを開校し、不登校などによって高校を中退した生徒たちに動画配信による授業、インターネットにのせた授業を行っています。通信制高校は自学自習やレポート提出などがありますが、Webスクールではテレビ会議システムなどを利用した双方向のやりとりによるライブ授業、メール、チャット等24時間どこでも授業が受けられるメリットがあります。BBS（掲示板）で生徒間同士のやりとりやスクーリング制度など、孤独感を払拭し、全国の中退や不登校の生徒が高校を出たい（卒業したい）という願いをかなえるために誕生しました。

大野校長も自ら不登校の経験を持ち、私学の高校を中退、そんなときに支えてくれたのがラジオ番組やギターでした。就職をしたものの、高校卒業の資格の大切さに気づき、再度公立高校を受験し卒業されました。様々な仕事を経験し、シンガーソングライターとしての活動も続けながら、教師の仕事に巡り会い今日に至っています。教師も自分が夢に向かってがんばっている姿をみせることが大切であり、校長先生は子どもたちにとって存在感が薄いですが、生徒に顔の見える校長になりたいと取り組みを続けています。学校長としての教育理念をしっかりと持ち、先生方を通して生徒たちとかかわっていききたい、また、教育の現場の実態をメディアを通して伝えていききたいとも語られています。



わたしたち事務職員には、学校の管理運営に関われるのは事務職員であり、スペシャリストではなくゼネラリストとして校長をサポートしていくことが必要で、教育を支えていくという使命感をもち、全体を見渡せる存在となつてほしいとエールをいただきました。

文部科学省行政説明 「義務教育の構造改革」

文部科学省初等中等教育局財務課給与総括係長 粟井 明彦 様



近事研セミナーが第10回目を迎えるのに伴い、より充実した内容をと
いうことで、今回初めて、文部科学省行政説明の時間を設定しました。

文部科学省初等中等教育局財務課給与総括係長 粟井明彦様から、「義
務教育の構造改革」をテーマに、義務教育の構造改革や義務教育の現状等
について、1時間程度のご講話をいただきました。粟井様は、文部科学省
に平成6年に入省され、現在は予算確保の業務をご担当されています。

義務教育費国庫負担制度の変遷、三位一体の改革の政府・与党合意まで
の動き、総人件費改革実行計画等をたどり、基本理念を再確認しながらのご講話でした。

現在、「行政改革の重要方針」に基づき、約90万人の教職員の職務に関する実態調査（指導内容、地
域への役割、超勤その他）が、来年の3月までの予定で行われており、「教職員給与関係の法令を含め、
教職員給与の在り方について検討を行い、平成18年度中に結論を得て、平成20年春に所要の制度改
正を行う」方針であるため、今後、三位一体の改革の流れで、義務教育にますます厳しい対応を求めら
れるかもしれない、将来的にどの程度の義務教育費が確保されるかの懸念もあるとのお話でした。

年々、全国的に旅費の縮小が求められ、近畿でもなかなか他都市への出張も困難な状況があります。
今回の近事研セミナーは、そういった意味でも身近に文部科学省の方のお話を伺える貴重な機会になっ
たのではないのでしょうか。

調査研究部活動報告



調査研究部の活動報告は、全事研兵庫大会での提案内容「学校の説明責任と学校事務職員」、「学校の
組織のあり方と学校事務職員の役割」について行いました。

<学校の説明責任と学校事務職員>

学校財務に関して説明責任を果たすために必要な情報を「教育環境整備に関わる情報の収集・活用・
発信のヒント」としてまとめ、学校事務職員の果たすべき説明責任について提案しました。

また、説明責任を果たしていくためには、あらゆる機会を捉えて、情報を発信していくことが必要で
あり、ホームページや、保護者説明会、「学校だより」などを通じて、事務職員が、新しい教材教具の
購入計画、学校施設の補修計画、学校徴収金・就学援助のお知らせ、などについて情報提供することが
考えられます。そして、発信した情報について意見を取り入れ、次の活動に生かしていくことが、保護
者や地域との信頼関係を築いていくことにつながると考えます。

<学校組織のあり方と学校事務職員の役割>

教育指導部門と管理運営部門の2部門制と校長の経営理念をより具体化させる（経営方針の策定）場
としてのスタッフ会議の設置を提案しました。

これからの学校事務職員の学校経営に果たす役割については、財務のスペシャリストとしてだけでなく、
学校経営のスタッフとして管理運営部門をつかさどり、児童・生徒によりよい教育活動を保障する
ために、人・物・金・情報を有効に活用し、教育指導部門、管理運営部門をマネジメントする「ゼネラ
リスト（総合職）」の役割を果たすこと、また、学校運営に必要な過去のデータや最新の情報を提供し、
活動の計画や評価を集約するとともに、事業起案や情報発信における「情報の管理者（起案の審査、発
信情報の記録・保存など）」の役割について提案しました。

最後に、提案内容を「とある小学校の とある事務職員の とある一日」として映像にまと
め、調査研究部の活動報告を終えました。

